



# 向陽坂通信

2015年 第2号  
(2015.10.1 発行)  
長野県下諏訪向陽高等学校

## 第34回向陽祭 テーマ "ONE LINK ~ここからが俺達のステージだ!~"



今年はお笑いステージで全校が盛り上がりました



クラス対抗の体育祭・障害物リレーの様子です



教室を使って迷路を作り上げたクラスもありました



シャトルバスのおかげで多くの方にご来場いただきました



多くの方の来場で屋台も盛況でした



後夜祭にて、ファイヤーストームを囲んで踊っています

## 体験入学への参加、ありがとうございました

8月29日(土)、強い日差しが照りつける中、多くの中学校から約440名の参加をいただきました。生徒自治会が作成した学校紹介のビデオ鑑賞や、実際の授業を見学することで向陽高校の雰囲気がかめたと感じています。午後は部活動の見学・体験入部があり、見学だけでなく高校生と一緒に練習や試合をして、一足早く高校生気分を味わった中学生もいたのではないのでしょうか。

いただいたアンケートの中からいくつか掲載させていただきます。

- ・(学校の雰囲気) 「落ち着いており楽しそう」  
「とても綺麗な校舎で清掃が行き届いていた」
- ・(授業について) 「静かに集中して勉強していた」  
「先生が生徒の進度を確認して授業していた」
- ・(生徒について) 「明るく、前向きに取り組んでいる」  
「メリハリを持って授業を受けている」



## 第36期生徒自治会発足

9月3日(木)・11日(金)の2日に分けて、第36期生徒自治会の役員選挙が行われました。選挙の結果、生徒自治会長に池田凌馬くん(岡谷西部中)をはじめとした役員が決定しました。9月25日(金)の生徒総会では、第35期生徒会の活動報告とあわせて、第36期生徒会の新役員の紹介が行われました。新会長の池田くんは、「向陽高校をもっと身近な素晴らしい学校にするために、挨拶を大切にしていきたい」と目標を語ってくれました。これまでの向陽高校生徒会の伝統を受け継ぎ、よりよい学校をつくっていかれることを期待します。

生徒自治会長	池田 凌馬 (2-2)	岡谷西部	副議長	樽林まりあ (2-2)	諏訪
副会長	西郷ののか (2-2)	茅野北部		二階ほのか (2-6)	長峰
	清水 望由 (2-3)	原	監査委員長	熊谷 裕尚 (2-4)	下諏訪
議長	臼井 未玲 (2-2)	岡谷西部	監査副委員長	小林 千那 (2-2)	長峰
			向陽祭総長	樋口 蓮 (2-4)	岡谷西部



## 中村智哉くん(漕艇部)、世界ジュニア出場!

2015年8月5日(水)~9日(日)、ブラジルのリオデジャネイロで行われたボートの世界ジュニア選手権に、本校3年の中村智哉くんが出場しました。世界ジュニア選手権への長野県勢の出場は19年ぶりとのこと。昨年のインターハイ壮行会で「日本代表を目指します」と語っていた中村くんは、ストイックに練習に打ち込み自分を極限まで追い込みました。今年6月に行われた第13回全日本ジュニアボート選手権準決勝では、限界まで力を出し切ってゴール後に気絶し沈没、救助艇で助けられたほどだったそう。この全日本ジュニアボート選手権で3位に入賞し、日本代表に選出された中村くん。4人の力を合わせてひとつのボートを漕ぐクオドルプルの選手として、日の丸を背負って戦ってきました。結果は総合18位でしたが、世界の強豪たちと戦ってきた経験はきっと彼の財産になるでしょう。大学進学後もボートを続け、2020年の東京オリンピック出場を目指すと言気込みを語ってくれました。5年後の東京五輪では、胸に金色のメダルを掲げた中村くんの姿がテレビに映るかもしれません。



中村智哉(茅野市立東部中出身)、1997年4月2日生まれ。

中学時代は陸上部に所属。自慢のスタミナにさらに磨きをかけて世界で勝つことを目指す。第13回全日本ジュニアボート選手権3位(シングルスカル)、U-19日本代表